

BK CONNECT 2023.0 PULSE 27.0 ハイライト

BK Connect® 2023.0をリリースしました。
ダウンロードはこちらから! To download,
go to:

<https://www.bksv.com/services/support/license-management> イ

インストールパッケージには以下のものが含まれます:

- BK Connect® 2023.0
- PULSE™ LabShop バージョン27.0
- PULSE™ 実稼働モード解析 バージョン 7.2.2.4
- PULSE™ 発生源経路寄与 (SPC)
- Team Server

BK Connectの新機能

HBKは、ワークフロー全体をサポートする独自のツールを提供することで、チームの日常業務の生産性を最大化できるように、引き続き注力しています。

今回のリリースの主なハイライトは以下の通りです:

- 新規タスク: マッピングによるチーム検索ファイルのインポート
- Microsoft® SQL Server® 2022のサポート
- BK Connect Data Processingの新機能:
 - 収録と処理タスクの更新
 - グラフィカル オートトラックでの時間データのサポート
 - プロセスチェーンの新規信号フィルター
 - プロセスチェーンのRPMベースの要素への入力データとしてrpmプロファイルをサポート
- BK Connect Hardware Setupの新機能:
 - 新規ハードウェアセットアップ読み込みツール
 - レベルメータの改善
- BK Connect Structural Dynamicsスイートの新機能:
 - 計算された残差の保存
 - 新規凝縮最適化パラメータ
 - シェイプテーブルからのODSアニメーション
- BK Connect Array Analysisの新機能:
 - 粒子速度の計算
 - RPMプロファイルの表示
 - 再生モードでの全結果の同時エクスポート
- BK Connect Indoor Pass-byスイートの新機能:
 - UN R51 Addendum 50 Revision 3をサポートするための改善
 - SPC計算前の条件数のしきい値の微調整
- Front-end Setupツールの更新
- その他の機能強化やバグフィックス

詳細情報はこちら

製品およびソリューションに関する情報、およびここに記載されていないものも含めた特別なハードウェア、ソフトウェア、保守契約に関する最新の追加機能についてはHBK販売代理店に、お問い合わせください。ブリュエル・ケアーのデータ分析ソフトウェアの詳細については分析アプリケーションソフトウェアでご確認いただけます。



New in PULSEの新機能

既存のお客様は、必要な時に現在お使いのPULSEプロジェクト/テンプレートを引き続き使用しながら、本リリースのアップデートも利用できます:

- BK Connectと同様、PULSE LabShopのデータベースはMicrosoft®SQL Server®2022をサポート
- OLEインターフェイスの更新
- 簡素化されたプロジェクト保存
- Vehicle Pass-byの新機能:
 - 追加されたVehicle Pass-by規格のサポート
 - ランの選択解除機能
- その他の機能強化やバグフィックス

PULSE実稼働モード解析 (OMA) の新機能

- 新規SHMソフトウェアパックBZ-8553-S
- 新規年間リースライセンス
- その他の機能強化やバグフィックス

マッピングによるチーム検索ファイルのインポート 新規タスク

新しい「マッピングによるチーム検索ファイルのインポート」タスクは、インデックス付き Team Server ファイルリポジトリファイルをインポートするために作成されました。そのため、Team Server リポジトリが必要になります。

このタスクは、メタデータを使用してリポジトリからデータを検索し、インデックス付きファイルのメタデータをBK Connectのデータモデルオブジェクト（プロジェクト、被試験体、テスト、テスト条件、セットアップ、結果）に従ってBK Connectで使用するメタデータにマッピングするために使用します。このマッピングにより、BK Connect全体で使用するテストプラン（たとえば、データ処理の「記録と処理」タスク）に合わせてデータを整理することができます。これにより、合理化されたテストのデータをより効率的に共有することができます。

詳細情報はこちら

[BK Connect Data Viewer](#) の製品データ、Readme、またはオンラインヘルプをご参照ください。

BK Connect Data Processing の新機能

信号フィルタリング

フィルターを使用して、プロセスチェーンの最初のエレメントが使用する信号を選択することが可能になりました。これにより、エレメントごとに信号を選択して処理することが可能になり、生成されるデータ量を減らすことができます。最終的にはパフォーマンスを向上させ、不要なデータを減らすことができます。

グラフィカルオートトラッカーでの時間データのサポート

8405-E型次数比分析オプションで利用可能なグラフィカルオートトラッカーで、時間データの入力をサポートするようになりました。時間データを使用する場合は、選択したチャンネルに基づいてスペクトログラムが作成されます。その後、プロファイルを追加することで、すべての元のチャンネルと作成されたトラッキングプロファイルを含む、新たなレコーディングが作成されます。

その他の機能改善

- ・ 記録と処理 タスクのAssignサブタスクの名称をAnnotateに変更しました。
- ・ 測定アプリケーション：測定データへのメタデータの注釈を容易にするため、測定タスクに主なメタデータ（被試験体、テスト条件、プロジェクト、テスト、セットアップ、結果）のメタデータ入力を追加しました。
- ・ ジェネレーター設定でスイープサイン波形が設定できるようになりました。
- ・ RPM情報を必要とするすべてのエレメントで、RPMプロファイルを入力として選択可能になりました。オーダートラッキングエレメントでも使用可能ですが、プロファイルの性質上、物理的なタコ信号のような精度は得られません。

詳細情報はこちら

[BK Connect Data Processing](#) の製品データ、Readme、またはオンラインヘルプをご参照ください。

BK Connect Hardware Setup の新機能

ハードウェアセットアップの読み込みの改善

ハードウェアセットアップファイルの読み込みやテストに保存されたハードウェアセットアップの使用に関し、以下の改善（および修正）を施しました：

- ・ 現在ロードされているハードウェアセットアップとインポート中のハードウェアセットアップファイル、またはアクティブなテストに保存されているハードウェアセットアップファイルとの間の競合を検出します。競合が検出されるとユーザーに通知されます。競合の例：
 - － モジュール数、チャンネル数、モジュールの型番や順序、シリアル番号の不一致
 - － シリアル番号付きトランスデューサ（デバイス）の場所が一致していなかった場合、それに対処するためのオプションの選択
- ・ ファイル読み込み前にHWセットアップテーブルをクリアするためのオプションの追加
- ・ ファイル読み込み後にTEDS検出を開始するオプションの追加
- ・ 不一致検出時のキャンセルオプションの追加
- ・ HWブラウザに専用のTEDS検出ボタンを追加

その他の機能改善

- ・ モニタのレベルメータをさらに改良し、マルチチャンネルのサポートや警告、ディスプレイ選択の保持が向上し、ソート機能を追加しました。

詳細情報はこちら

[BK Connect Hardware Setup](#) の製品データ、Readme、またはオンラインヘルプをご参照ください。

BK Connect Indoor Pass-byスイートの新機能

UN-ECE R51-03規制試験へのアップデート

UN-ECE R51-03規制試験をサポートするために追加された機能：

- ・ Annex 3 加速測定とCRS測定
- ・ Annex 7 ASEP
- ・ Annex 9 RD-ASEP
- ・ ISO 362.3 B.6, パワートレイン騒音測定の外乱騒音補正
- ・ ISO 362-3草案で規定された標準Microsoft® Excel®フォーマットに従ったタイヤノイズ補正
- ・ 測定タスクからテストプランをCSVファイルにエクスポート
- ・ 上記R51測定に対するTeam Serverのサポート

その他の機能改善

- ・ フロント、リア、参照点などの各位置における速度およびRPM値を示すようになりました。
- ・ SPC Validationサブタスクでは、フルパスバイSPC計算を実行する前に、SPCモデルと選択した検証用マイクロホンの測定スペクトルを比較して、条件数のしきい値を微調整します。結果データは自動的にプロジェクトブラウザにプッシュされます。

詳細情報はこちら

[BK Connect Indoor Pass-by, Pass-by SPC and VVS Measurement](#)の製品データ、Readme、またはオンラインヘルプをご参照ください。

BK Connect Structural Dynamicsスイートの新機能

以下の機能強化が含まれます：

- ・ モーダルパラメータ推定中に計算された残差をモードテーブルに保存してFRF合成に使用可能
- ・ 圧縮最適化パラメータを追加し、安定性ダイアグラムの一貫性と分解能の最適化
- ・ グラフ領域（既存）またはシェイプテーブル（新規）の選択による、スペクトルODSシェイプのアニメーション表示
- ・ ジオメトリ凡例のオプションにDescription(説明)フィールドを追加

詳細情報はこちら

[BK Connect structural analysis](#)の製品データ、readmeまたはオンラインヘルプをご参照ください。

BK Connect Array Analysisの新機能

以下の機能強化が含まれます：

- ・ SONAH測定において粒子速度の計算および表示が可能*
- ・ スペクトログラムとタコプローブからの回転プロファイルの同時表示*
- ・ スペクトログラムとCANバスからの回転プロファイルの同時表示
- ・ 再生モードにおいて、1回の操作ですべてのメッシュポイントの結果（音圧、音響インテンシティ、粒子速度）をUFFファイルやMicrosoft Excelにエクスポート*

*8493-A-N-SYS型 Acoustic Camera Appletでも利用可能

詳細情報はこちら

[BK Connect Acoustic Camera](#)の製品データ、Readmeまたはオンラインヘルプをご参照ください。

一般的なBK Connectの機能強化およびバグフィックス

Microsoft SQL Server 2022 Expressの導入

SQL Server 2022を導入することで、データベースエンジンのインストールにおけるLog4jの脆弱性の問題を解決します。

Front-end Setupツールの診断機能の改善

BK Connectに含まれるFront-end Setupソフトウェアの診断機能を、LAN - XI ハードウェアとの接続を確実にするために改善しました：

- ・ データ再送の遅延をチェックすることにより、デバイスの接続をモニターするための新規の安定性モニタリング。
- ・ 外部検証の修正を含む、より明確な検証プロセス。

その他の機能改善

- ・ アクティブなネットワークアダプタがなくてもLocal Team Serverがインストールできるようになりました。

- ・ Shift+ドラッグによるディスプレイのズーム表示が2D高速表示でも利用可能になりました。これにより、2つのY軸のズーム表示が可能になります（以前はX軸とZ軸のみ）。

詳細情報はこちら

[BK Connect](#) のウェブ ページ、Readme、オンラインヘルプをご参照ください。

PULSE LabShopの新機能

PULSE Vehicle Pass-byの更新

- ・ 二輪車用規制 UN-ECE R41-02 Am10 RD-ASEP のサポート
- ・ UN-ECE R51-03 Supplement 7の一部サポート :
 - Annex 3: Appendix 2 タイヤローリングノイズの補正
 - Annex 3: Appendix 3 タイヤローリングノイズの測定
 - Annex 9: RD ASEP - 測定パートのみ
- ・ ISO 362-3:2021(E) Annex B.8Iに関連するフリーローリングノイズ (FRN) のサポート (FRNおよびTIをサポートする新しいタイヤノイズ補正専用テンプレートを含む)
- ・ エラーが発生した場合のランの選択の解除が可能

その他の機能改善

- ・ 新規の再生速度コントローラおよびオフセット設定コントロールを備えたOLEインターフェイスの更新
- ・ デモプロジェクトを保存しない、変更を保存するなどの無関係なオプションを削除してプロジェクト保存タスクを合理化
- ・ ユーザー定義テンプレートを使用する場合、スタートアップの省略を簡単に設定できるようになりました。Fileメニューの**Undo Open Default Template**をクリック することで設定できます。

詳細情報はこちら

[Data Analysis Software](#) ソフトウェアのWebページ、Readme、オンラインヘルプをご参照ください。

PULSE実稼働モード解析 (OMA) の新機能

新ソフトウェアパック

新しいBZ-8553-S型 Structural Health Monitoring Packには以下のソフトウェアが含まれます :

- ・ BZ-8550: OMAPro用PULSE Data Managerベースモジュール
- ・ BZ-8551: OMAPro用PULSE Automatic File Uploadモジュール
- ・ BZ-8552: OMAPro用PULSE Modal Parameters Historyモジュール
- ・ BZ-8553: OMAPro用PULSE Damage Detectionモジュール

ソフトウェアの新機能

- ・ dxf、dwgおよびstl形式のCADジオメトリのインポート
- ・ ノードと矢印のレンダリングの詳細を定義して、大規模なジオメトリの取り扱いを改善

新規の年間リースライセンス

以下の型番が年間リースライセンスとして利用可能になりました :

- ・ 8760-NY: PULSE Operational Modal Analysis Basic年間リース
- ・ 8760-A-NY: PULSE Operational Modal Analysis Basicアカデミック年間リース
- ・ 8761-NSY: PULSE Operational Modal Analysis Standard年間リース
- ・ 8761-A-NSY: PULSE Operational Modal Analysis Standardアカデミック年間リース
- ・ 8762-NSY: PULSE Operational Modal Analysis Pro年間リース
- ・ 8762-A-NSY: PULSE Operational Modal Analysis Proアカデミック年間リース
- ・ BZ-8527-A-NY: PULSE Batch Processing for OMA Pro年間リース
- ・ BZ-8527-B-NY: PULSE Batch Processing for OMA Proアカデミック年間リース
- ・ BZ-8553-NSY: PULSE Structural Health Monitoring Pack年間リース
- ・ BZ-8553-A-NSY: PULSE Structural Health Monitoring Packアカデミック年間リース

有効期限が切れた場合は、新しい年間リースライセンスを購入、または割引価格で永久ライセンスへのトレードインが可能です。年間リースライセンスはノードロックライセンスでのみ利用可能です。詳細はHBK販売代理店にお問い合わせください。

詳細情報はこちら

[PULSE実稼働モード解析](#)のウェブページ、製品データ、オンラインヘルプをご参照ください。

特別オファー

M1契約中のお客様向けのキャンペーンや特典については、[local sales representative](#) までお問い合わせください。

www.bksv.com/analysis-software